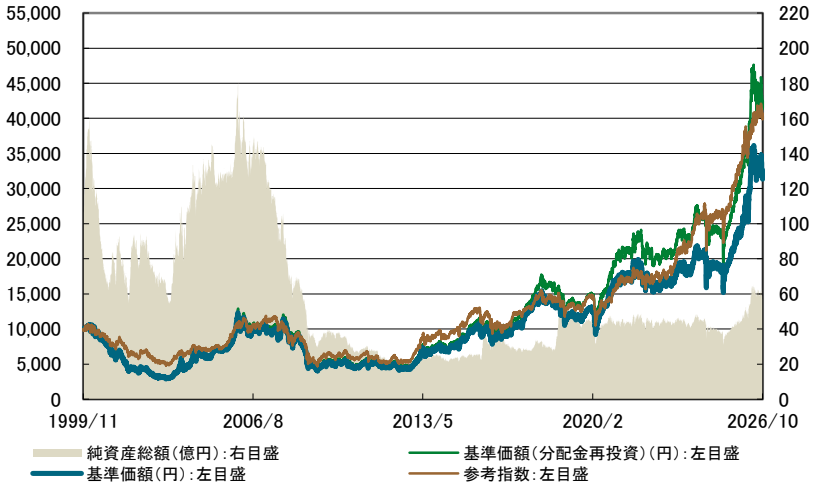
次世代ファンド　≪愛称：次世代≫

追加型投信／国内／株式

当初設定日　：　1999年11月30日
作成基準日　：　2026年10月30日

基準価額の推移



※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
※ 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※ 基準価額は、信託報酬控除後です。
※ 参考指数は、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）です。当初設定日を10,000として指数化しています。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	31,520 円	－ 1,770 円
純資産総額	57.36 億円	－ 3.26 億円

期間別騰落率

	ファンド	参考指数	差
1カ月	−5.32%	−3.48%	−1.84%
3カ月	−1.99%	−0.04%	−1.95%
6カ月	4.52%	7.54%	−3.02%
1年	36.45%	21.71%	14.75%
3年	88.54%	88.79%	−0.26%
設定来	315.47%	299.08%	16.39%

※ ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

TOPIX（東証株価指数）とは、株式会社JPX総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。TOPIX（東証株価指数）（配当込み）（以下、「配当込みTOPIX」という。）の指数値及び配当込みTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など配当込みTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及び配当込みTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、配当込みTOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

分配の推移（1万口当たり、税引前）

設定来分配金合計額　　4,150　円

決算期	2023年11月	2024年11月	2025年12月
分配金	350　円	100　円	850　円

※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

個別銘柄が基準価額の変動に与えた影響度（月間、概算）

プラス要因銘柄	寄与額	マイナス要因銘柄	寄与額
野村総合研究所	＋ 138 円	キオクシアホールディングス	－ 152 円
グローバルセキュリティエキスパート	＋ 129 円	アンリツ	－ 140 円
MTG	＋ 83 円	東京エレクトロン	－ 139 円
HUMAN　MADE	＋ 77 円	村田製作所	－ 139 円
シンプレクス・ホールディングス	＋ 61 円	メイコー	－ 135 円

＜本資料のお取扱いにおけるご留意点＞
●当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
●ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
●投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
●投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
●当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
●当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。

次世代ファンド　≪愛称：次世代≫

追加型投信／国内／株式

当初設定日　：　1999年11月30日
作成基準日　：　2026年10月30日

資産の状況

資産内容

株式	96.08%
株式先物取引	0.00%
短期金融資産等	3.92%
合 計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

組入上位10業種

	業種	ファンド	参考指数
1	電気機器	21.73%	20.06%
2	情報・通信業	11.34%	6.36%
3	その他製品	9.66%	2.17%
4	銀行業	8.70%	11.96%
5	機械	7.90%	5.28%
6	サービス業	7.55%	4.86%
7	化学	6.14%	4.57%
8	卸売業	4.78%	7.68%
9	小売業	4.07%	3.99%
10	輸送用機器	3.36%	5.16%

※ 対現物株式構成比です。

組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	MTG	その他製品	4.19%
2	BuySell　Technologies	卸売業	3.22%
3	エクサウィザーズ	情報・通信業	3.11%
4	SBI新生銀行	銀行業	2.95%
5	フジシールインターナショナル	その他製品	2.86%
6	シンプレクス・ホールディングス	情報・通信業	2.80%
7	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.77%
8	りそなホールディングス	銀行業	2.64%
9	チャーム・ケア・コーポレーション	サービス業	2.29%
10	HUMAN　MADE	小売業	2.12%

※ 対純資産総額比です。　　組入銘柄数 ：　63

次世代ファンド　≪愛称：次世代≫

追加型投信／国内／株式

当初設定日　：　1999年11月30日
作成基準日　：　2026年10月30日

ファンドマネージャーのコメント

【市場動向】
国内株式市場は下落しました。月上旬は、米ハイテク企業の好決算や、米雇用統計の下振れを受けて米早期追加利上げ観測が後退したことなどを背景に米国株式が上昇したことを好感し、上昇しました。その後、中東情勢の緊迫化やAI（人工知能）向けクラウドサービス企業の信用不安を機にAI投資の持続性や収益性への懸念などが高まり、AI・半導体関連銘柄を中心に下落しました。下旬には、米AI企業の株式公開に向けた動きやアジアの半導体関連企業の好決算を受けて上昇する場面もありましたが、月末には米大手ハイテク企業の決算を受けたAIへの過剰投資懸念などから下落して終えました。

【運用実績】
社会や経済に大きな変革をもたらす3つのメガトレンド、「テクノロジーの進歩」、「人口構造の変化」、「気候変動と資源不足」によって長期的に成長が見込まれる3分野、「情報技術」、「高齢化・少子化」、「環境保全・対策」に着目しています。3分野を牽引する旬なテーマを社会構造変化に合わせて選別し、テーマからの恩恵が期待でき、強い事業競争力を持つ勝ち組企業を投資対象としています。
ポートフォリオの構築は、中長期的な利益成長性から見て株価が割安と判断される銘柄を中心に厳選し、投資行動としては、四国化成ホールディングス、信越化学工業、ダイヘンなどを一部/新規購入し、ボードルア、グローバルセキュリティエキスパート、HUMAN MADEなどの一部/全売却を行いました。
基準価額騰落率はマイナスとなり、参考指数を下回りました。野村総合研究所、グローバルセキュリティエキスパート、MTGなどがプラスに寄与する一方で、キオクシアホールディングス、アンリツ、東京エレクトロンなどがマイナスに影響しました。

【市場の見通し】
国内株式市場は、月初に米国での利上げ観測の後退などを受けて上昇した後、AI投資を巡る過剰投資懸念の再燃やクレジット市場での警戒感の高まりなどから、月末にかけてAI半導体関連銘柄を中心に大幅に下落しました。
AI半導体関連銘柄は、短期的には厳しい株価反応が想定される一方で、業績は好調な銘柄が多く、中長期的に見ると変化が大きいとの見方に変更はありません。銘柄間・領域での選別は発生すると考えますが、需要や投資は今後も堅調に拡大すると見ています。11月初めの米中間選挙の結果を踏まえ、ポジティブ/ネガティブ影響を見極めたうえで投資行動に反映していきます。
中長期的には、生成AI・DXの社会への浸透に伴うネットワークインフラの強靭化やセキュリティ対応の高度化、省人化・効率化につながる新たなデジタルサービスの普及を予想します。
また、世界の分断化による安全保障・宇宙関連ビジネスの隆盛およびフィジカルAI技術の社会実装、強力なブランド・IP（知的財産）価値創出による購買力の高い若者・シニア需要の取り込み、資源の有効利用を目指す環境負荷低減活動や再生可能エネルギーの本格普及など、社会構造変化の過程で利益成長が見込まれる勝ち組企業が株式市場の牽引役となることに期待しています。

【今後の運用方針】
引き続き、長期的に成長が見込まれる3分野の中から強い競争力を持つ勝ち組企業を投資対象として選定します。ポートフォリオの構築は、国内外の景気や為替動向、社会構造変化等を見極めつつ、独自の業績予想に基づく想定株価対比で魅力が高いと思われる銘柄や、相場変動により一時的に株価が下落した銘柄などを組み入れる方針です。

次世代ファンド　≪愛称：次世代≫

追加型投信／国内／株式

当初設定日　：　1999年11月30日
作成基準日　：　2026年10月30日

ファンドの特色

1. 21世紀の日本経済をリードする、成長市場における勝ち組企業を中心に投資します。

2. 徹底した企業調査を行い、投資銘柄を厳選します。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
  従って、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様に帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

【株価変動リスク】
株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【信用リスク】
有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
  分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
  投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込が発生し短期間で換金代金を手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
  これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止、取り消しとなる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

次世代ファンド　≪愛称：次世代≫

追加型投信／国内／株式

当初設定日　：　1999年11月30日
作成基準日　：　2026年10月30日

お申込みメモ

購　入　単　位 ・・・ 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

購　入　価　額 ・・・ 購入申込受付日の基準価額とします。
（基準価額は1万口当たりで表示しています。）

換　金　単　位 ・・・ 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

換　金　価　額 ・・・ 換金申込受付日の基準価額とします。（信託財産留保額の控除はありません。）

換　金　代　金 ・・・ 原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目からお支払いします。

申込締切時間 ・・・ 原則として、販売会社の営業日の午後3時半までにお申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

換　金　制　限 ・・・ ファンドの規模及び商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間及び金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

購入・換金申込受付の中止及び取消し ・・・ 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及びすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。

信　託　期　間 ・・・ 無期限（1999年11月30日設定）

繰　上　償　還 ・・・ 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させることができます。
・受益権の口数が5億口を下回ることとなった場合
・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
・やむを得ない事情が発生した場合

決　算　日 ・・・ 毎年11月29日（休業日の場合は翌営業日）です。

収　益　分　配 ・・・ 年1回、毎決算時に原則として収益分配を行う方針です。

課　税　関　係 ・・・ 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
なお、配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料
購入申込受付日の基準価額に**3.3%（税抜3.0%）を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額
ありません。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用（信託報酬）
運用管理費用（信託報酬）の総額は、以下の通りです。
純資産総額に対して**年率1.65%（税抜1.5%）**を乗じて得た額

■ その他の費用・手数料
有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用等をその都度、監査費用等を日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※ 詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

次世代ファンド　≪愛称：次世代≫

追加型投信／国内／株式

当初設定日　：　1999年11月30日
作成基準日　：　2026年10月30日

委託会社・その他の関係法人の概要

■ 委託会社　三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図を行う者）
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第347号
加　入　協　会　：　一般社団法人資産運用業協会
ホームページ　：　https://www.smtam.jp/
フリーダイヤル　：　0120-668001　受付時間 9:00～17:00 [土日・祝日等は除く]

SMTAM投信関連情報サービス
お客様が指定されたファンドに関する情報（基準価額、レポート）や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。
※LINEご利用設定は、お客様のご判断でお願いします。
※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

■ 受託会社　三井住友信託銀行株式会社（ファンドの財産の保管及び管理を行う者）

販売会社

商号等		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）※1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）※1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第6号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○		○	
三井住友信託銀行株式会社 ※2	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○	○	○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第110号	○			
東海東京証券株式会社（加入協会：一般社団法人日本STO協会）	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
みずほ証券株式会社 ※3	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第94号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（加入協会：一般社団法人日本STO協会）※4	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第199号	○			

※1　ネット専用のお取り扱いとなります。
※2　2025年6月30日以降、新規の買付けを停止しており、換金のみの受付となります。
（ただし、累積投資コースの分配金再投資は引き続き行われます。）
※3　2014年8月1日以降、新規の買付けを停止しており、換金のみの受付となります。
※4　2023年4月24日以降、新規の買付けを停止しており、換金のみの受付となります。
・お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、販売会社へお申し出ください。
・販売会社は今後変更となる場合があります。